

目標達成計画

作成日：平成 21 年 12 月 15 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所として自治会との関わりはもっているが、職員及び入居者等の地域との日常的な交流不足があり今後の課題である。	地域密着型ということも考え、自治会以外での活動にももっと参加をしてみる。リサイクル活動や地区の行事など地域活動の情報収集を行い、接点をもてるようにしたい。	老人会にも参加したり、地域の文化祭やお祭り等に入居者様と一緒に参加してみる。又、近隣の小・中学生が遊びに来たり、ボランティアとして活動してくれるなど、積極的に御願いをしてみる。	6ヶ月
2	10	事業所独自のアンケート調査はしているが、それを活かしていない為、今後の分析、結果を報告し取り組みが必要である。	利用者の意向や外部への声を表せる機会及び意見や苦情について検討をして行く。又、家族会を設け、意見を出せる仕組みを作り、苦情への対応で終わりでなく原因を探り質の向上を目指して行く。	入居者の言葉・態度からのその思いを察する努力をし、入居者本位の運営を心掛けて行く。又、御家族には、手紙や訪問時、家族会等で常に問い掛け、何でも言って貰える雰囲気作りをしていく。又、意見・要望はミーティングにて話し合い反映をさせて行く。	ヶ月
3	26	ケアマネだけが計画書を作成していたので、職員も含めて個別に話し合いをし、計画書作成をしていく。又、入居者の現状に即した計画書を作成して行く事が必要である。	一人一人のその時点に沿った個別具体的な計画書を作成していく(気づきを多く取り入れる)。入居者主体の暮らしを反映した介護計画書を作る。	本人・家族には日頃の関わりの中で思いや意見を聞き、反映させていく。アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行い、入居者が自分らしく暮らして行ける様、本人・家族の要望を聞き、事業所外の関係者の意見も含めて課題となる事をスタッフで話し、介護計画書に活かしていきたい。	3～6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。